

2025 年 8 月 7 日

ホンダ学園、創立 50 周年を記念して 「第 28 回ラリー・モンテカルロ・ヒストリック」に参戦 ～佐藤琢磨選手がドライバーとして参戦し学生たちと極限のラリーレースに挑む～

学校法人ホンダ学園（以下、ホンダ学園）は、2026 年に創立 50 周年を迎えることを記念したチャレンジの第一弾として、2026 年 2 月に欧州で開催される「第 28 回ラリー・モンテカルロ・ヒストリック」※¹への出場を決定しました。

本チャレンジには、ホンダ学園の学生約 30 名が有志で参画。参戦車両である 1975 年式の初代 CIVIC RS 2 台のレストア※²から整備、部品調達、さらには欧州現地での運営支援やナビゲーター対応までを担います。また、アンバサダー兼ドライバーとしてレーシングドライバーの佐藤琢磨選手が参加し、学生たちと共に国際ラリーレースに挑戦します。



ホンダ学園は 1976 年、Honda 創業者であり、初代校長を務めた本田宗一郎の「技術だけでなく、世界に歓迎される人間を作りたい」という志のもとに創設され、“技術力と人間力”を兼ね備えた人材の育成を目指してきました。現在はホンダ テクニカル カレッジ関東・関西の 2 拠点体制のもと、50 年にわたり実践を重視した教育と「挑戦する姿勢」を軸に人づくりに取り組んでいます。

本チャレンジは、「技術の伝承」と「挑戦文化の醸成」を目的とする「50 周年記念チャレンジ企画」の第一弾です。技術革新が加速する現代においても、「変わるものと変えてはならないものを見極め、本質的な価値を次世代へ継承していく」という企画のコンセプトの元、ホンダ学園の理念を体現する取り組みとなります。

また、日本全国を巡る「Cub チャレンジ」など、第二弾・第三弾となる記念企画の展開を予定しています。

※1 「Automobile Club de Monaco (ACM)」主催

※2 部品の修復や交換を通じて、クラシックカーを本来の姿・性能に蘇らせること

■学校法人ホンダ学園 常務理事 中嶋歩のコメント

「ホンダ学園が創立 50 周年を迎えるにあたり、学生たちが佐藤琢磨選手と共に『ラリー・モンテカルロ・ヒストリック』へ挑戦できることを大変うれしく思います。日々、学生たちが取り組んでいるヒストリックカーのレストアは、マニュアルも部品もない“答えのない実習”であり、まさに逆境への挑戦です。仲間と共に課題を乗り越え、技術者として、そして人として大きく成長してくれることを願っています」

■モンテカルロ・ヒストリック・チャレンジ アンバサダー兼ドライバー 佐藤琢磨選手のコメント

「ホンダ学園の皆さんとはこれまでも多くの交流を重ねてきましたが、今回は 50 周年を記念したプロジェクトを通じて、共に世界に挑戦できることを大変光栄に思います。学生の皆さんが“挑戦のスピリット”と“あきらめない姿勢”を存分に発揮し、仲間と共に成長していく姿を見るのが、今からとても楽しみです。私自身、現役で INDY500 に参戦を続ける一方で、若手ドライバーの育成にも力を入れています。今回のプロジェクトでは、世界で活躍できるエンジニアの育成にもつながるのではないかと、大いに期待しています。この大きな挑戦を、学生の皆さんと共に楽しみながら、全力で取り組んでいきたいと思います」

■第 28 回ラリー・モンテカルロ・ヒストリック開催概要（予定）

主 催：Automobile Club de Monaco（ACM）

開催日時：2026 年 2 月 1 日（日）～2 月 7 日（土）※予定

開催会場：モナコを起点に、南仏アルプス山岳地帯を中心とする複数都市（フランス、イタリアなど）

参加車両条件：

- ・1911～1986 年 1 月までの「ラリー・モンテカルロ」に参加実績のある車種
または同等仕様のヒストリックカー（Honda 車では初代 CIVIC が唯一該当）
- ・規定のオリジナリティーと整備状態を保持していること

レース形式：レギュラリティラリー形式

- ・約 2,000～3,000km を決められた平均速度で正確に走行
- ・スピードではなく精度と対応力を競う

■学校法人ホンダ学園概要

創 立 年：1976 年

創 設 者：本田宗一郎（本田技研工業株式会社 創業者）

理 事 長：清水光太郎

教育理念：チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者を育成する

設 置 校：ホンダ テクニカル カレッジ 関東（埼玉県ふじみ野市）

ホンダ テクニカル カレッジ 関西（大阪府大阪狭山市）

主な学科：サービスエンジニア学科／一級自動車整備学科／研究開発学科（関東）

一級自動車研究開発学科／自動車整備科／自動車整備留学生科（関西）

特 徴：Honda グループ直系の教育機関で、鈴鹿 8 耐や全日本ラリーへの参加、ヒストリックカーのレストアなどの課外活動も充実

主な進路：Honda 販売会社（Honda Cars 各社）、整備工場、サプライヤー、Honda やグループ企業（推薦枠あり）

公式 HP：<https://www.hondacollege.ac.jp/>

■佐藤琢磨選手のレースキャリア

- 1997 年 鈴鹿レーシングスクール フォーミュラ（SRS-F）を卒業
- 2001 年 英国 F3 選手権チャンピオン
マスタース F3 優勝
マカオ GP 優勝
- 2002 年 ジョーダン・ホンダより F1 デビュー
- 2003 年 B・A・R ホンダに移籍
- 2004 年 F1 第 9 戦アメリカ GP で 3 位表彰台
- 2006 年 スーパーアグリ・ホンダに移籍
- 2010 年 KV レーシングよりインディカー・シリーズに参戦
第 94 回インディアナポリス 500（インディ 500）に初挑戦、20 位完走
- 2011 年 インディカー・シリーズ第 8 戦で日本人初のポールポジション獲得
- 2012 年 レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍
第 4 戦サンパウロで自身初の 3 位表彰台
第 96 回インディ 500 にて終盤まで優勝争いするも、最終ラップでスピン
- 2013 年 AJ フォイト・レーシングに移籍
第 3 戦ロングビーチでインディカー・シリーズ日本人初優勝
- 2017 年 アンドレッティ・オートスポーツに移籍
第 101 回インディ 500 で日本人初優勝
この勝利により内閣総理大臣顕彰受賞
- 2018 年 レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍
- 2019 年 第 103 回インディ 500 でトップに約 0.3 秒及ばず、3 位
- 2020 年 第 104 回インディ 500 予選で日本人過去最高位となる 3 位
決勝レースで自身 2 度目となる優勝
- 2021 年 第 105 回インディ 500 で連覇を狙うも、14 位
- 2022 年 デイル・コイン・レーシング・ウィズ・リック・ウェア・レーシングに移籍
第 106 回インディ 500 25 位
- 2023 年 チップ・ガナッシ・レーシングに移籍 第 107 回インディ 500 は 7 位
- 2024 年 株式会社ホンダ・レーシングの「エグゼクティブ・アドバイザー」に就任
レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍 第 108 回
インディ 500 決勝では 10 番グリッドからスタートし、14 位
- 2025 年 第 109 回 インディ 500 予選で日本人過去最高位となる 2 位獲得
決勝では 2 番グリッドからスタートするも、途中トラブルなどで 9 位